

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

プロの指導で「音読」の効果を実感

▼第8回おしどり学園



▲プロの朗読を披露する稲田さん

した。

コーディネーターとして、日野高校の存続と、持続可能で魅力的な学びのために奮闘中である日々の活動を紹介。1月25日には、日野高校が「キャリア教育優良校」として文部科学大臣表彰を受けることになり、「長年にわたる日野地域の皆さんの高校への理解と愛情のたまものである」と報告しました。

そして、アナウンサーとして活躍していた経験を活かしての「音読」と「朗読」を行いました。

「音読」は、①気持ちが悪く②やる気が出る③ストレスの解消④脳の活性化

化⑤誤嚥性肺炎の予防と、医師もすすめる医学的効果が期待されています。

「作品を声に出して味わうと、時間・空間を超えて作者の心情にふれる事ができます」と稲田さん。プロの稲田さんのお手本に習い、石川啄木の歌集、枕草子、サラダ記念日、平家物語、智恵子抄など音読しました。

さらに稲田さんは、映画「男はつらいよ」から、車寅次郎の叩き売りの口上を感情をこめて朗読。文章の行間の間、声の強弱、テンポの良さと勢いによって、声から絵（風景）が思い浮かびます。

学園生の満面の笑みで、会場が拍手に包まれた楽しい講演会となりました。

次回おしどり学園のご案内

日時 3月28日（木）午前9時30分
場所 町公民館 講堂

講演 演題 小説「火口に立つ。」について（仮）

講師 作家 松本 薫さん

【問合せ・申込み】町公民館（74・0212）

地域に広がる学習活動

▼黒坂2区ぼかばか教室で出前公民館

～両面折り紙で

『花の小箱』

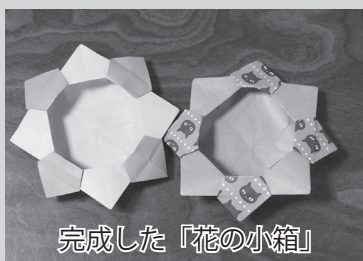
を作ってみよう～

1月22日、黒坂2区ぼかばか教室で、「ペーパークラフト教室」を開きました。

講師は、町公民館の柿本史子職員が担当。かわいい両面折り紙を使って素敵な「花の小箱」を作りました。最初はなかなかうまく折れず、四苦八苦する姿も見られましたが、しだいに慣れ、お互いに教え合うほほえましい光景も見られました。中には4個や5個も作った人や、折り紙を張り合わせて大きな「花の小箱」を作る人も。完成するたびに喜びの笑顔と歓声が響き渡っていました。



互いに教えあう参加者



完成した『花の小箱』

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

対策、お役立ち情報など
押さえておきたい
情報満載！

第32回

獣害対策 アップデート

WM点検時期です！

暖冬でドカ雪に注意！なんて言われていたが、いつもより雪が少なく、拍子抜けでしたね。雪によるワイヤーメッシュの破損も少ないかもしれませんが、早め早めの点検をオススメします。と言いますのも、実は冬の間に農地周辺がイノシシによって荒らされているという相談が多かったのです。

イノシシは記憶力が良く、冬の間突破口を覚えると、春以降農作物がある時期にも、突破口から農地に入り込み荒らす可能性があります。

ワイヤーメッシュ柵の点検ポイントとは、

- ① 結束が外れていないか
- ② 柵が浮いていないか
- ③ 柵が変形していないかの3点です。

特に、イノシシはほぼ地際から突破を試みます。点検時には

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野風花【問合せ】電話 72-1399

地際の結束線が弾けていないか、柵が浮いていないか、といった点に注意してください。

さらに、扉部分も要点箇所です。イノシシは、以前突破できていた場所がふさがれると、ほかに突破できそうな場所がないかワイヤーメッシュ沿いを歩きます。その時、結束が少なく、持ち上げに弱くなりがち扉が狙われると、簡単に突破されてしまいます。足先を扉の下に入れて、軽い力で扉を上を浮かせられるようでしたら、補強が必要です。下部の針金を増やす、支柱を増やすといった対策で扉の下部補強は可能ですので、詳しくはご相談ください。

毎年のことですが、農作業に入る前によくワイヤーメッシュ柵を点検してみてください！



KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT



日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動をしているの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！



1/18
(木)

今年度の学びの集大成！ 第7回 学びの成果発表会

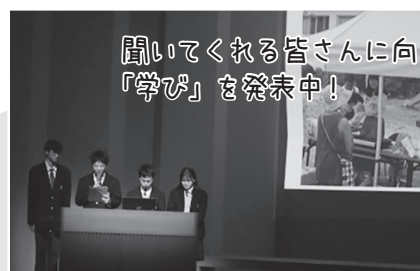
日野高校の学びの集大成ともいえる「学びの成果発表会」が、日野町文化センターを会場に行われました。

ホワイエでは、「美術」「書道」「フラワーアレンジメント」「廃材アート」の授業での制作物・作品が展示され、多くの人が足を止め、作品に見入っていました。

ホールでは「音楽」「合奏」「合唱」の披露。その後、1年「産業社会と人間」、2年「日野探究Ⅰ」、3年「日野探究Ⅱ」の代表チームの発表と、日ごろの研究の成果を披露しました。来場者から「高校生らしい視点で問題を捉え、わかりやすくまとめている」などの声があったほか、島根大学・作野教授の全体講評も、生徒にとって自信に繋がるものとなりました。



重なって合わせた綺麗な声がホールに響く♪



聞いてくれる皆さんに向かって、「学び」を発表中！